

平成24年11月19日

杉並区議会議長
井口 かづ子 様

災害対策特別委員会
委員長 横山 えみ

災害対策特別委員会活動経過報告書

災害対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 活動年月日

平成24年9月19日 報告聴取

2 活動経過

以下の通り2件の報告を聴取した後、質疑応答を行った。

(1) 新たな自治体との「災害時相互援助に関する協定」の締結について

基本構想に掲げる「災害に強く安全・安心に暮らせるまち」の実現に向けて、地震等の災害が発生した場合の自治体間の相互援助の仕組みの拡充を図るとともに、自治体間の水平的支援を推進するため、平成24年8月27日に山梨県忍野村、平成24年9月14日に静岡県南伊豆町と災害時相互援助に関する協定を締結したとのこと。

2自治体との協定締結の理由は、両自治体とも区の校外学習施設等を通じた様々な交流実績を踏まえて、災害への備えを万全なものとするためとのこと。

協定の主な項目は援助の要請、援助物資等、援助物資等の輸送、援助に要した費用負担とのこと。

協定の期間は、3年間とし、期間満了の3箇月前までに相互に申し出等の意思表示がないときは3年間延長されたものとみなし、以後も同様とするとのこと。

(2) 平成24年度杉並区総合震災訓練等について

① 総合震災訓練（関係機関訓練）

地域と関係機関及び区が連携した訓練を実施することで、地域の防災力

向上や区民への防災意識の普及を図ることを目的として平成24年11月25日に都立和田堀公園で総合震災訓練を実施すること。

訓練の想定は、休日の午前9時に震度6強の首都直下地震が発生。建物の倒壊や道路、水道、電気等のライフラインが寸断され、区は避難勧告を発令し、区民が避難場所へ避難をしたというもの。

重点的取り組み事項としては、発災から時系列的な対応を想定とした訓練としていくこと、災害時相互援助協定を締結している自治体等の訓練への参加、震災救援所運営連絡会委員による体験訓練の確実な実施の3点を想定しているとのこと。

訓練内容は、消火・救助訓練、応急復旧訓練、医療救護訓練、炊き出し訓練及び各ブースでのスタンドパイプ、仮設トイレ等の体験訓練を実施すること。

② 震災救援所訓練

震災救援所の開設・運営に向けた各自の役割確認や区民の避難確保及び災害時要援護者支援対応を通じて、災害対応力を身につけるとともに、地域の防災力向上を図ることを目的としているとのこと。

訓練内容は震災救援所立ち上げ訓練のほか、各震災救援所で決めた訓練メニューを実施すること。

なお、震災救援所の訓練は、地域と学校、区で協働して取り組むとともに、消防、消防団、警察等と連携して実施すること。

以上